

一般社団法人 日本電機工業会 包装委員会の主な取り組み

家電業界では、「容器包装廃棄物の削減に向けた家電業界の自主行動計画」に基づいて、環境に配慮した包装に取り組んでいます。

01 包装委員会の目的

家電製品の包装に関して3Rの取り組み（環境負荷の低減）など、包装の適正化を相互に協調して進め、社会貢献や消費者啓発活動を推進します。

02 歴史

1981年3月日本電機工業会・家電政策委員会の下部組織として設立されました。

【構成：9社、3団体（2019年現在）】

Reduce
リデュース
包装材の使用量の削減や
物流効率の改善に
取り組んでいます

家電製品
包装3Rの
取り組み

Reuse
リユース
包装を再利用して包装
廃棄物の発生の抑制に
取り組んでいます

Recycle
リサイクル
包装を回収してリサイクル
・リサイクル材料の使用
また、家庭から排出される際の
包装材の分別性にも
取り組んでいます



最近の主な取り組み

家電製品をより大切に扱っていただくための シンボルマークを包装箱に表示しています

- 1.各社で共通に使うことができる説明文を作成しました
- 2.シンボルマークは、1991年より運用している「環境配慮包装シンボルマーク」を活用しました
- 3.共通認識の説明文と合わせて、包装箱にシンボルマークを表示して啓発活動をしています




この箱は、製品を守るための
ものです。輸送の際に多少の
スレや汚れが付くことがあり
ますが、ご理解いただけます
ようお願い申し上げます。

（運用は各社判断となり、製品により異なります）

【一般社団法人 日本電機工業会包装委員会参画社名】

シャープ(株)、ソニー(株)、ダイキン工業(株)、東芝ロジスティクス(株)、パナソニック(株)、
日立グローバルライフソリューションズ(株)、(株)日立物流、三菱重工サーマルシステムズ(株)、三菱電機(株)、
一般社団法人 電子情報技術産業協会、一般社団法人 日本冷凍空調工業会、一般社団法人 家電製品協会